

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)

【公開番号】特開 2019-55314 (P2019-55314A)

【公開日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2019-014

【出願番号】特願 2019-5524 (P2019-5524)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 20 日 (2019.9.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に対して遊技媒体が順次に発射される発射手段と、

閉状態と開状態との間で動作可能な開閉部材を有し、該開閉部材が開状態にあるとき、前記遊技領域のうちの特定の転動領域内にある遊技媒体を内部領域へと進入させる入賞口手段と、

前記入賞口手段の内部領域に進入した遊技媒体が特定領域に受け入れられたとき、遊技者に有利な遊技制御を実行可能な有利遊技制御手段と、

前記特定領域へ遊技媒体が進入可能な状態と進入不能な状態とに切り替える可動部材と

、
前記入賞口手段は、

前記発射手段が遊技媒体を発射する発射間隔よりも短い時間において前記開閉部材を前記閉状態から前記開状態へ動作させた後に前記発射間隔よりも長い時間において前記開閉部材を前記開状態から前記閉状態へ動作させる動作を複数回実行する特殊開閉動作を実行可能であり、

前記特殊開閉動作を実行した場合、前記入賞口手段に予め定められている最大入賞数の遊技球を入球させることが可能であり、

前記特殊開閉動作を実行した場合、遊技媒体が前記特定領域に受け入れられるように前記可動部材を動作させるものの前記特殊開閉動作における最初の前記開閉部材を前記閉状態から前記開状態へ動作させた際に進入した遊技媒体については遊技媒体が前記特定領域に受け入れられないように前記可動部材を動作させる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、

遊技領域に対して遊技媒体が順次に発射される発射手段と、

閉状態と開状態との間で動作可能な開閉部材を有し、該開閉部材が開状態にあるとき、前記遊技領域のうちの特定の転動領域内にある遊技媒体を内部領域へと進入させる入賞口手段と、

前記入賞口手段の内部領域に進入した遊技媒体が特定領域に受け入れられたとき、遊技者に有利な遊技制御を実行可能な有利遊技制御手段と、

前記特定領域へ遊技媒体が進入可能な状態と進入不能な状態とに切り替える可動部材と、

前記入賞口手段は、

前記発射手段が遊技媒体を発射する発射間隔よりも短い時間において前記開閉部材を前記閉状態から前記開状態へ動作させた後に前記発射間隔よりも長い時間において前記開閉部材を前記開状態から前記閉状態へ動作させる動作を複数回実行する特殊開閉動作を実行可能であり、

前記特殊開閉動作を実行した場合、前記入賞口手段に予め定められている最大入賞数の遊技球を入球させることが可能であり、

前記特殊開閉動作を実行した場合、遊技媒体が前記特定領域に受け入れられるように前記可動部材を動作させるものの前記特殊開閉動作における最初の前記開閉部材を前記閉状態から前記開状態へ動作させた際に進入した遊技媒体については遊技媒体が前記特定領域に受け入れられないように前記可動部材を動作させる

ことを特徴とする。

また、本発明とは異なる別発明の手段を以下に示す。

手段１：遊技領域に対して遊技媒体が順次に発射される発射手段と、

閉状態と開状態との間で動作可能な開閉部材を有し、該開閉部材が開状態にあるとき、前記遊技領域のうちの特定の転動領域内にある遊技媒体を内部領域へと進入させる入賞口手段と、

前記入賞口手段の内部領域に進入した遊技媒体が特定領域に受け入れられたとき、遊技者に有利な遊技制御を実行可能な有利遊技制御手段と、

前記特定の転動領域内における遊技媒体の転動方向の長さを L 、前記発射手段による遊技媒体の発射間隔の時間を T とすると、前記特定の転動領域での遊技媒体の平均速度が「 $L / 2 T$ 」未満となるように前記遊技領域に打ち込まれた遊技媒体と関わり合う構造体として形成されてなる特殊構造体手段と

を備え、

前記特殊構造体手段によって前記特定の転動領域での遊技媒体の平均速度が「 $L / 2 T$ 」未満に抑えられるなかで前記開閉部材が前記閉状態から前記開状態へと動作したときに前記入賞口手段の内部領域に進入する遊技媒体があった場合、その数の多少にかかわらず、前記特定領域に対して１つの遊技媒体のみが誘導可能とされうる

ことを特徴とする遊技機。